

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例あります(第16週週報に速報で掲載)。推定感染経路は、経口感染(生カキ)です。本年の累積報告数は全国で151例(5月7日現在)となっており、既に平成21年の年間報告数(115例)を大きく上回っています。特に、第10週以降、報告数が急増しています。感染源の共通性を見出すため、ウイルス株の解析を行っていますので、医療機関におかれましては、届出の際には、糞便検体の提供をお願い致します。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は、第17週が1.02(42例)、5月3日～5日の祝日を含む第18週は、0.59(24例)となっています。依然として、過去5年平均値を上回っており、夏季の流行ピークに向けて患者数の増加が懸念されます。また、全国では、手足口病原因ウイルスのうち、急性脳炎など中枢神経系の合併症を引き起こす割合の高いエンテロウイルス71が約半数を占めており、引き続き注意が必要です。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第17週が0.85(35例)、第18週が0.68(28例)です。依然として、過去5年平均値を上回る状態が続いています。年齢群別にみると、2歳～5歳が、62.9%(第17週)、64.3%(第18週)を占めています。

◆ 今週のトピックス: <水痘>

水痘の定点当たりの報告数は、第17週が1.32(54例)、第18週が1.63(67例)で、2週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 5例, 肺外結核 2例, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 93例(肺結核 57例, 肺外結核 21例, 無症状病原体保有者 15例), (喀痰塗抹陽性 20例)】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 4例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 5例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	第18週		第17週	
		定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.00	0	0.06	4
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.10	291	8.41	345
	② 水痘	1.63	67	1.32	54
	③ 流行性耳下腺炎	0.68	28	0.85	35
	④ 手足口病	0.59	24	1.02	42
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	20	1.27	52
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0	0.40	4

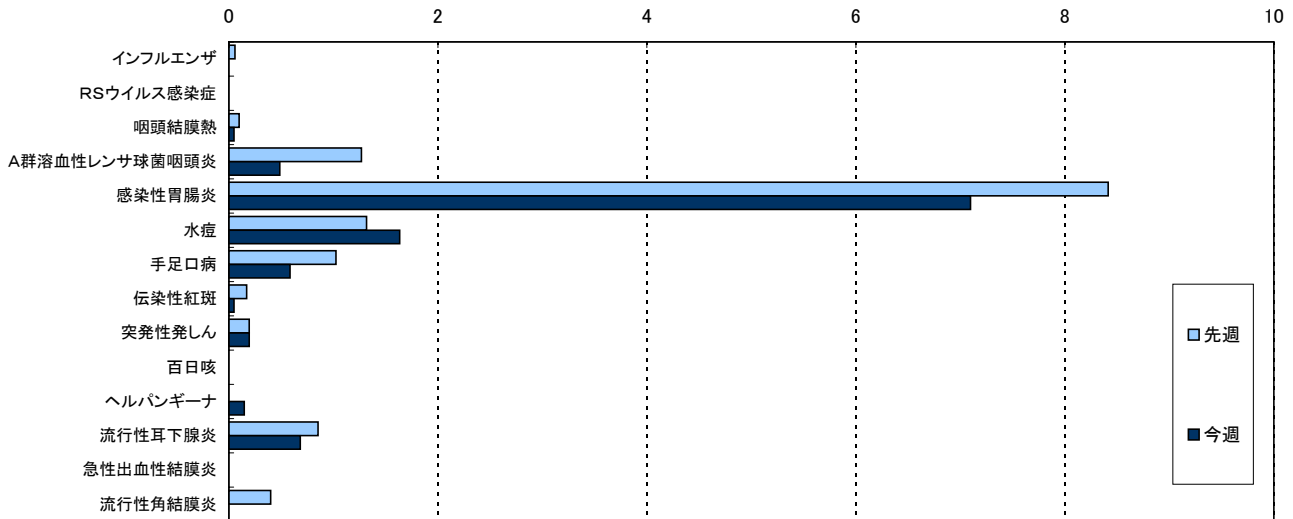
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <水痘>

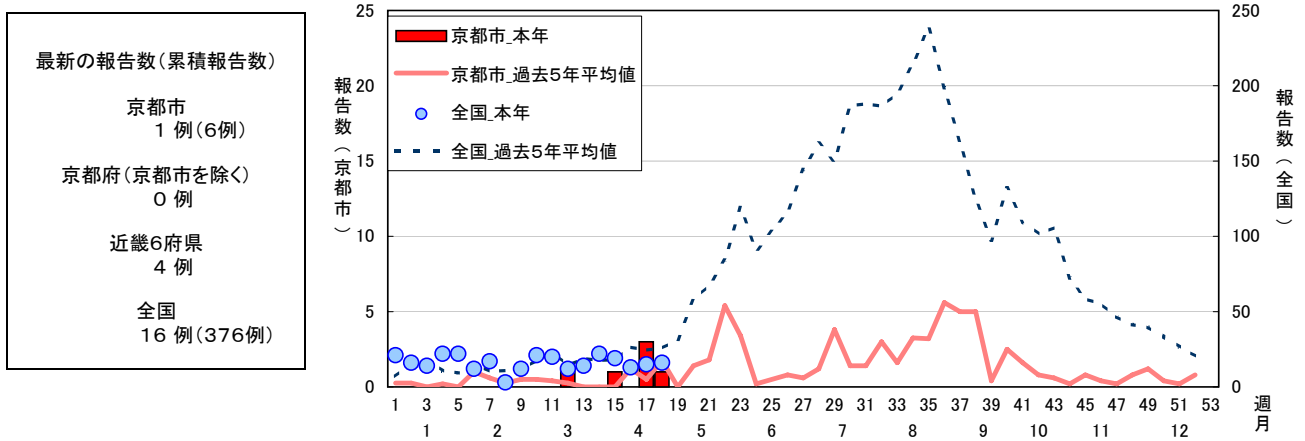
(注) 京都市のデータは、平成22年5月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第18週)と先週(第17週)の定点当たり報告数の比較

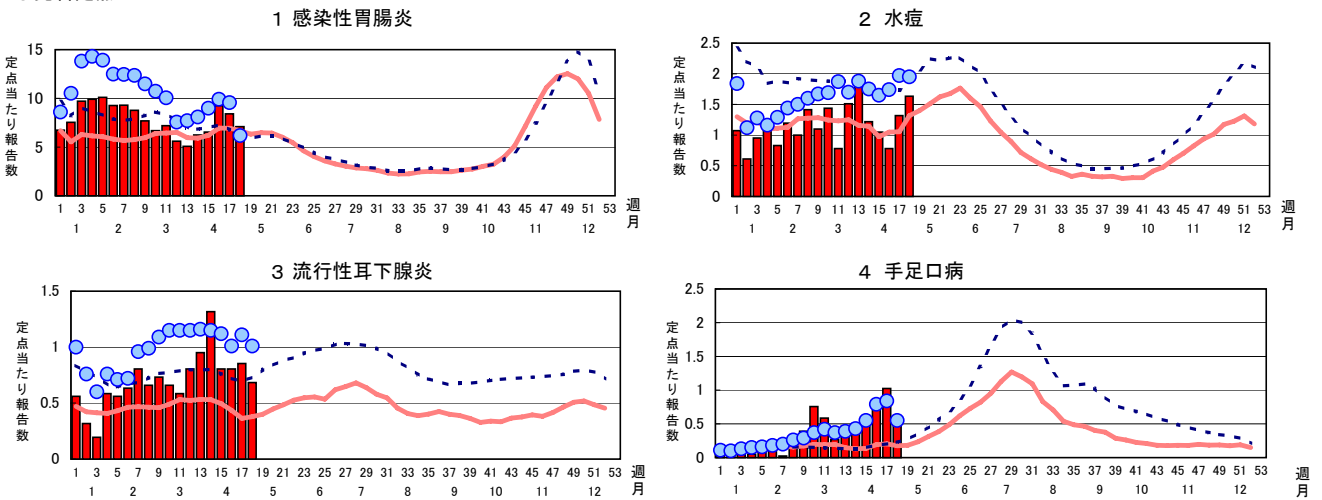


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

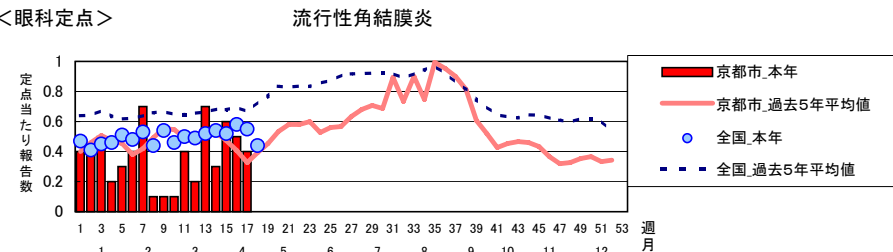


3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



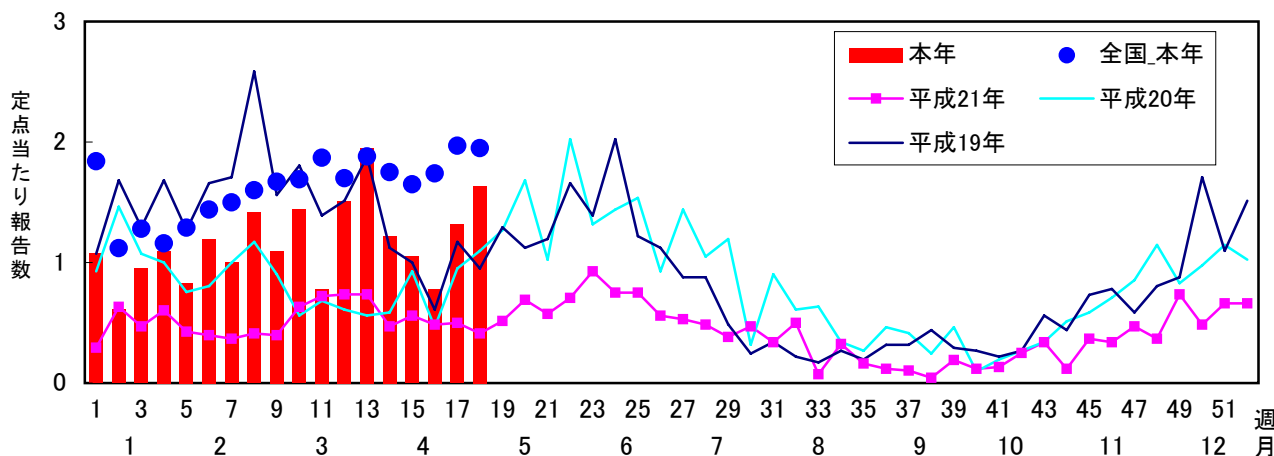
合併号(4月26日～5月9日)トピックス: <水痘>

水痘の定点当たりの報告数は、2週連続で増加しています。第17週が1.32(54例)で、5月3日～5日の祝日を含む第18週は、1.63(67例)となっています。

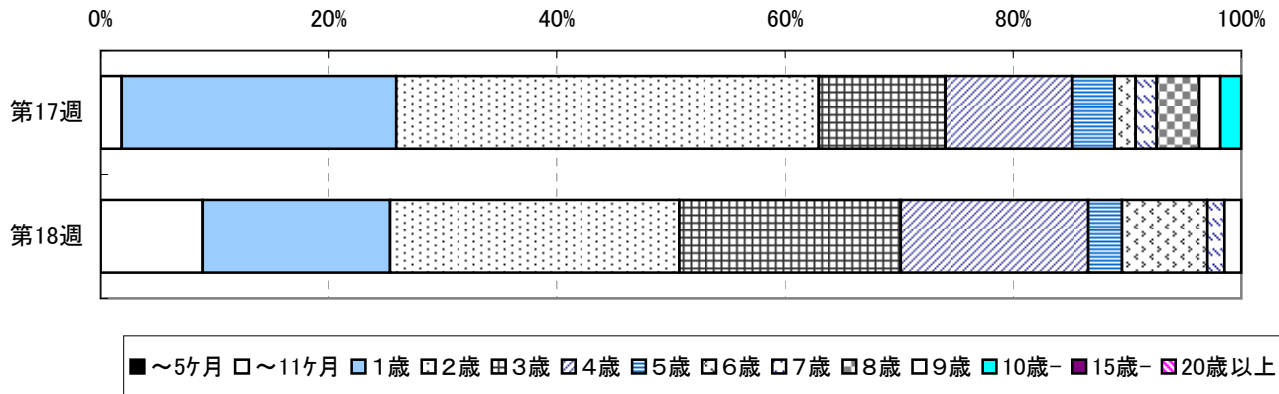
年齢階級別にみると、第17週、第18週共に「2歳」が最も多く、4歳以下で85.2%(第17週)、86.6%(第18週)を占めています。

行政区別にみると、東山区と南区が多くなっています。

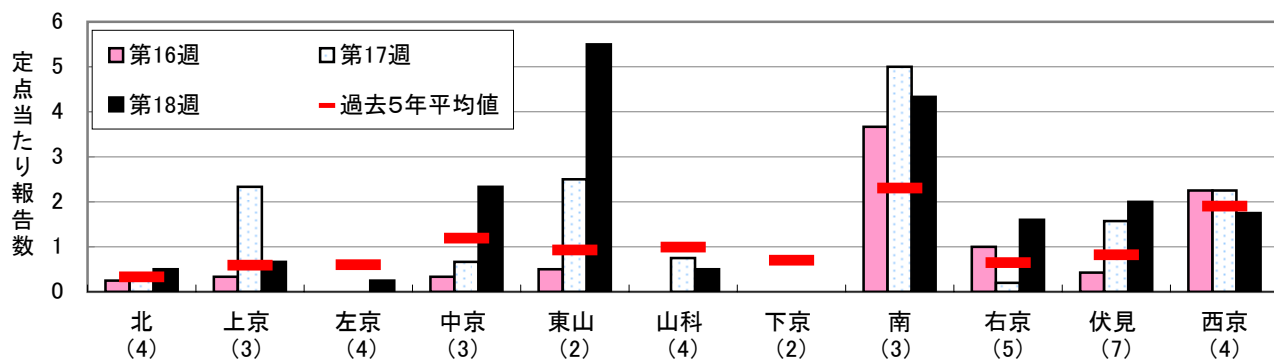
本市の定点当たり報告数の推移(平成19年～平成22年第18週)



年齢階級別構成割合



行政区別定点当たり報告数の推移



(注) 定点にどのような医療機関が含まれているかによって、北や上京、左京などでは例年、定点当たり報告数が低くなる傾向があります。